unicef for every child

奈良ユニセフだより

NO.20　2022年2月発行
奈良県ユニセフ協会

皆さまのご支援に感謝して

日時　2021年10月17日（日）
会場　東大寺　金鐘ホール
（東大寺総合文化センター内）

県ユニセフ協会「設立20周年記念の集い」を開催

奈良県ユニセフ協会の「設立20周年記念の集い」が、2021年10月17日、東大寺金鐘ホール（東大寺総合文化センター）において開催されました。マスク着用、入場時の消毒、入場者の人数制限等の感染防止対策を講じ、来賓をはじめ関係者約150名の方々にご出席いただいて設立20周年を祝いました。

（4団体7社の後援、2団体の協力）

■　第一部「記念式典」“心の鼓動”の合唱で開幕

第一部の記念式典は、2011年から続く内戦で苦しむシリアの子どもたちが、子ども時代を取り戻したいという望みを訴える曲「心の鼓動」で開幕。音楽の森ファミリー合唱団が荒井敦子県ユニセフ協会副会長（NPO法人音楽の森理事長）の指揮で合唱しました。

「心の鼓動」の合唱で記念式典開幕

開会にあたり、県ユニセフ協会甘利治夫会長が「設立から20年、皆さまのご支援に感謝、これからも一緒に活動を続けていきたい」と挨拶。引き続き、来賓の奈良県村井浩副知事、奈良市鈴木千恵美 子ども未来部長、日本ユニセフ協会早水研専務理事から祝辞をいただきました。早水専務理事は「ユニセフの活動にコロナ禍の深刻な影響が及んでいるが、子どもたちに寄り添い続けるためにユニセフは活動を続けていく」と挨拶。

甘利会長の開会挨拶

そしてユニセフ・アジア親善大使の歌手アグネス・チャンさんからビデオメッセージが寄せられました。

アグネス・チャン親善大使からのビデオメッセージ

■　感謝状を贈呈

設立20周年記念式典の開催あたり、日本ユニセフ協会と県ユニセフ協会からの感謝状の贈呈が行われました。ユニセフ活動と県ユニセフ協会の運営にご尽力いただいた県ユニセフ協会永田正利前会長らに日本ユニセフ協会から、また永年にわたり募金活動にご協力いただいた春日大社さまらに奈良県ユニセフ協会から、感謝状が贈られました。

日本ユニセフ協会早水専務理事による感謝状贈呈

■　県協会の“あゆみと活動”をスライドで紹介

奈良の地でユニセフ活動が始まって39年、県ユニセフ協会の設立から20周年。スライドの上映を行って、今日までのあゆみを振り返るとともに県ユニセフ協会の日々の活動を紹介。これまでに皆さんから寄せられた多くの支援、およびボランティアの皆さんのご協力に対して、改めて感謝の気持ちをお伝えしました。

■　第二部 合唱組曲「お地蔵さんからのメッセージ」

記念式典に引き続き、合唱組曲「お地蔵さんからのメッセージ」が音楽の森ファミリー合唱団によって上演されました。13歳から92歳まで38名の合唱団の皆さんの澄んだ歌声が、会場ホールを包み込みました。宇陀市室生の三本松には今も美しいお地蔵さんがおられます。地元で語り継がれてきた昔話「川を流れてきたお地蔵さん」を、合唱組曲「お地蔵さんからのメッセージ」にして上演。室生三本松の子安地蔵と人々の心温まる物語が、子どもたちの命を見守り続けてくださっているお地蔵さんへの感謝の気持ちを込めて、歌と語りで綴られました。

荒井副会長と合唱団の皆さんによる「お地蔵さんからのメッセージ」の上演

■　閉会

美しい歌声に包まれて第二部の合唱組曲もフィナーレを迎え、狭川普文県ユニセフ協会副会長（東大寺別当）の閉会挨拶。「ユニセフ奈良は20歳の成人を迎えた。世界の子どもたちの命の大切さを受け止め多くの方からのユニセフ支援がさらに広がるよう活動を続けていきたい」との言葉で集いは締めくくられました。

狭川副会長の閉会挨拶

2021年 8月～12月 活動報告

:**********

2021年10月5日～17日　　奈良県立図書情報館

ユニセフ写真展 を開催

「アグネス大使 ニジェール訪問」

砂漠をわたる子どもたち ～開発から取り残された国ニジェール～

****

2021 年 10 月5日～17 日、奈良県立図書情報館においてユニセフ写真展『「アグネス大使ニジェール訪問」砂漠をわたる子どもたち ～開発から取り残された国ニジェール～』を、県協会設立２０周年記念事業の一環で開催しました（奈良県立図書情報館と共催）。

サヘル砂漠の中心に位置するニジェールは、移動の中継地点としてアフリカ各地から移民・難民の人たちが流入しているだけでなく、ニジェールにもともと住んでいる人の多くも、貧困から抜け出そうと移動せざるをえません。

なかでも、物乞いのためにサハラ砂漠を北上してアルジェリアを目指す人々が後を絶たず、道中で多くの子どもたちやおとなが命を落としています。

2019 年6月、アグネス・チャン ユニセフ・アジア親善大使がニジェールを訪問。人々が命懸けで国を出る決心をする背景、現地の子どもたちを取り巻く状況やユニセフの取り組みの様子などを写真で伝えてくれています。

来場者から「ニジェールの深刻な現状を知ることが出来ました。ニジェールの状況や歴史について詳しく調べてみようと思う。」との感想が寄せられました。県ユニセフ協会では今後とも写真パネル展やブースの出展を通じて、厳しい環境に置かれた世界の人々の状況をお伝えし、支援の輪の拡大に向けての取り組みを進めます。

ご協力、ありがとうございました！

2021年1月～2021年12月までの間、奈良県の皆さまからユニセフにお寄せいただいた募金総額は、2,368,104円となりました。（速報値、振込を含む）

皆さまの温かいご支援に心よりお礼を申し上げます。

県ユニセフ協会設立20周年 これまでの“あゆみ”

設立１周年（2002 年）

高円保育園の園児たちが会場ステージで子ども太鼓を演奏、奈良市敷島町子ども会の子どもたちが会場を飾る万国旗２２０枚を手作りしてくれました。

高円保育園の園児たち

敷島町子ども会の皆さん

設立３周年（2004 年）

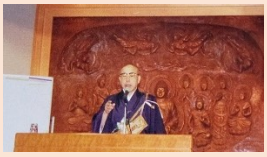
記念の集い会場「なら 100 年会館」で、あやめ池小学校の生徒たちが「ユニセフの仕事」を研究発表。まつぼっくり少年少女合唱団の歌声が会場を包みました。

あやめ池小学校の研究発表

まつぼっくり少年少女合唱団の皆さん

設立５周年（2005 年）

戦争の終わりから 60 年、国連の創設から６０年、日本ユニセフ協会創設から５０周年。設立５周年の 2005 年は様々な想いを起こさせる節目の年となりました。



東大寺森本公誠別当の記念講演

会場ホールでカード・書籍を販売

設立 10 周年（2010 年）

2010 年は平安遷都 1300 年の年。記念会場の平城宮跡交流ホールで三碓小学校の生徒たちによる「知ってほしい世界の子ども達の今」の研究発表が行われました。

三碓小学校の研究発表

ボランティアの皆さん

県ユニセフ協会設立２０周年にあたり、日本ユニセフ協会・奈良県ユニセフ協会から感謝状を贈呈

日本ユニセフ協会から感謝状

ユニセフ活動や県協会運営へのご尽力に感謝！

■ 贈呈先(敬称略)

県ユニセフ協会 永田正利 前会長
県ユニセフ協会 上原昭二 元監事
県ユニセフ協会 山藤泰 前理事
まつぼっくり少年少女合唱団

奈良県ユニセフ協会から感謝状

永年にわたる募金活動へのご協力に感謝！

■ 贈呈先(敬称略)

春日大社
県立榛生昇陽高等学校
奈良大学附属高等学校
奈良中学生ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ

2021年 8月～12月 活動報告

****

2021年11月22日～26日 奈良市庁舎
写真パネル展「ようこそ、『チームユ・ニセフ』へ！」開催
～スポーツの力を、すべての子どものために～

****

「チーム・ユニセフ」は、スポーツを通じて世界の子どもたちを応援する活動です。スポーツや遊びは、心身の発達を促し、自制心、信頼感や協調性を育みます。そしてスポーツには、人を動かす力があります。

世界の子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動するユニセフは、「スポーツと遊びの力」を、子どもたちを支援するさまざまな活動に活かしています。内戦で片足を失いながらも体操のコーチを夢見る紛争下の少女。「サッカーをしているときだけ辛いことを考えなくてすむんだ」と話すスラム街の少年。過酷な状況の中で生きる子どもたちにとって、スポーツは希望の光です。

奈良市庁舎で行った写真パネル展では、スポーツや遊びを夢中になって楽しむ子どもたちの日常の姿を紹介しました。

パネル：サッカーで遊ぶ難民の子どもたち（ニジェール）

パネル： バレーボールを楽しむ子どもたち（エチオピア）

ボランティア活動日誌

ユニセフと私　　大地文男　（ボランティア）

数年前のある日、退職後に始めた詩吟サークルの先輩から、ユニセフのボランティアをしているが手伝ってもらえないかと声が掛かり、事務所当番をさせて頂くことから奈良県ユニセフ協会とかかわって来ました。

ユニセフの活動については、小学生の頃から給食で出されたミルクや、近年はテレビのコマーシャルなどを通じて知っていましたが、何か遠い世界のこと思っていました。しかし色々なお手伝いを通じて世界の恵まれない子ども達に目を向ける機会を得ました。

ボランティア活動を通じて少しでもお役に立てれば、私にとって大きな喜びであります。微力ながら可能な限り活動に参加したいと思っています。

©日本ユニセフ協会

設立20周年記念誌を発行しました

県ユニセフ協会設立２０周年にあたり、「奈良県ユニセフ協会設立２０周年記念誌」（20ﾍﾟｰｼﾞ）を発行、関係者や賛助会員の皆さまにお届けしました。奈良の地でユニセフ支援活動が始まってから今日に至る３９年間のあゆみと県ユニセフ協会の日々の活動を、多くの写真を交えて紹介しています。

（記念誌をご希望の方は県ユニセフ協会までご連絡ください）

****

2021年11月～12月末
#ユニセフ奈良ハンド・イン・ハンド2021
すべての子どもの権利が実現される世界を
～できることから始めよう～
オンライン募金を呼びかけました

****

県ユニセフ協会では、2021年11月・12月の2か月間、スマホやパソコンから募金ができるオンライン募金へのご協力を呼びかけました。

毎年１２月に行っていますハンド・イン・ハンド募金は、新型コロナ感染防止のため、2020年に続き2021年も街頭での募金活動は控えさせていただきました。そして、コロナ禍でも何かできることをしたい、という支援者からの声を受け、ユニセフオンライン募金サイトの「フレンドネーション」から募金をしていただけるよう、今年も「ユニセフ奈良ハンド・イン・ハンド2021」のサイトを立ち上げ、オンライン募金に取り組みました。ご支援をありがとうございました。

****

2021年12月5日　　オンライン開催
"Hug Hug（はぐはぐ）祭り"にビデオで出展
「世界の子どもたちとユニセフについて」

****

HugHug祭りは市民公益活動を応援するイベントです。奈良市ボランティアインフォメーションセンターが主催、県ユニセフ協会も毎年出展しています。2014年に始まり2019年は約1300名の来場者がありました。

2020年はコロナ禍で中止となっていましたが、2021年はオンラインイベント形式で12月5日に開催、２３団体が参加してユーチューブで各団体の紹介動画が配信されました。県ユニセフ協会も募金活動やパネル展、出前学習会、ラブウォークなど、年間の活動を紹介する動画を作成しオンラインで参加しました。

出前学習会のご案内

オンライン出前学習会を行っています

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校や団体を訪問して学習を行う、出前学習会（講師派遣）を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」などを学びます。

オンライン学習会の様子

オンラインでの学習会も実施しています。事務所までお問い合わせください。

※ DVD 教材の貸し出しも行っています

出前学習の進め方

① 出前学習会の打ち合わせ （約１か月前）
日程調整、プログラム、体験学習

② 会場・教室の下見 （約１週間前）
プロジェクター等の作動・映写確認

③ 出前学習会の開催 （当日）

編集後記

昨年１０月に「県ユニセフ協会設立 20 周年」を関係する皆さまと祝うことができました。子どもたちを取り巻く世界の現実は厳しく、今も救援を求める切実な声が聞こえます。新型コロナは新たに「オミクロン」名の変異株が世界的に感染拡大しつつあり、怖さを感じます。

コロナの流行によって活動の制約を受けますが、３０周年に向けて第一歩を踏み出す今、従来の活動に加えて、子どもたちの健やかな成長を目指して、広く皆さまに支援の必要性を訴え、ご協力をお願いしています。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。 （M.K.）

※ 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。

賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同してくださる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	１口5千円	入会月～１年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	１口2千円	入会月～１年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	１口10万円	入会月～１年間

＊一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
＊賛助会費は寄付金控除の対象になります。
＊賛助会費は、１口以上何口でもご協力いただけます。
＊オンラインでの加入お申込みも可能となりましたのでご活用ください。 https://www.unicef.or.jp

使用済み切手回収

「使用済み切手」を集めています。
皆さまのご協力をお願いします。

お寄せいただいた使用済み切手は、開発途上国の子どもたちの命と健康、権利を守るためのユニセフ（国連児童基金）の活動に役立てさせていただきます。

切手は無理に剥がさずに、切手の回りに１センチほどの余裕を持って切り取って下さい。

切手回収 BOX を奈良市はぐくみセンター（JR奈良駅西側すぐ）に設置しています

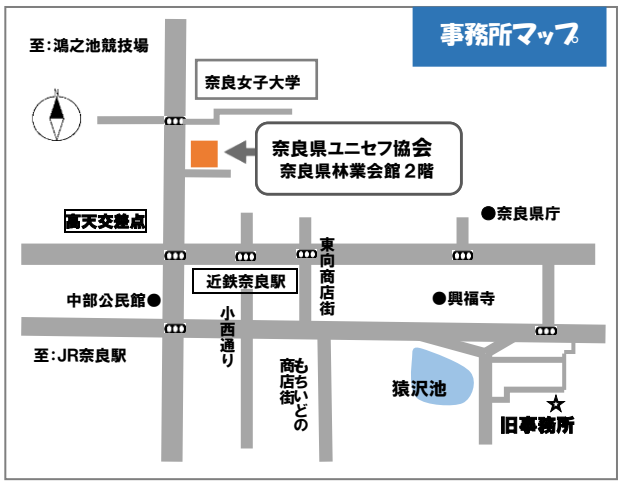
使用済み切手のほかにも集めています。

未使用切手　書き損じハガキ　使い残しハガキ

＊奈良県ユニセフ協会事務所へご持参ください。
＊郵便で奈良県ユニセフ協会事務所へお送りください。

unicef 奈良県ユニセフ協会

〒630-8253
奈良県奈良市内侍原（なしはら）町６番地の１　奈良県林業会館２階
TEL：0742-25-3005 / FAX：0742-25-3008
E-mail：unicef-n@m4.kcn.ne.jp
ホームページ：http://www.unicef-nara.jp/

※事務所開所日： 月・火・水・木　11:00～16:00

募金して頂ける方、ユニセフＤＶＤ等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。